大阪市老人クラブ徽章

全国3大運動
健康・友愛・奉仕をめざして
市内全会員に配布

月刊 大老連

平成27年　7月号
第684号　毎月1日発行
平成27年（2015年）7月1日
定価30円（送料別）　年間購読料1,100円（送料共）
購読お申し込みは、月刊大老連編集室にご連絡ください。

昭和33年9月19日第三種郵便物認可
〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センター3階
発行所　一般社団法人　大阪市老人クラブ連合会
電話　事務局 06(4304)8555
編集室 06(4304)8556
FAX 06(4304)8557

大老連定時総会を開催
事業報告書・収支決算書などを承認

大阪市老人クラブ連合会の定時総会が、5月27日（水）午後、大阪市天王寺区の市立社会福祉センターで開催され、新たに大老連理事・監事が選任されるとともに、平成26年度事業報告書・収支決算書・公益目的支出計画実施報告書の審議が行われ、全会一致で承認されました。

開会あいさつをする中保昌理事長

総会は原田壽総務部会長の進行で始まり、代議員定数82名中、出席者70名（書面表決8名）となり、過半数に達したので成立しました。

まず、中保昌理事長の開会あいさつと西嶋善親大阪市福祉局長（坂田洋一高齢者施策部長代読）のあいさつの後、大会役員の選出に移り、議長に東淀川区の奥野俊明代議員、旭区の阪上善胤代議員、議事録署名人に東成区の國安俊夫代議員、生野区の田中康博代議員が指名され、議事に入りました。

第1号議案の大老連理事・監事の選任について鷺島勝事務局長から提案があり、全会一致で承認されました。

第2号議案の平成26年度事業報告書について鷺島事務局長から説明があり、第3号議案の平成26年度収支決算書及び第4号議案の公益目的支出計画実施報告書については中路晃事務局次長から説明があり、それぞれ審議が行われ、全会一致で承認されました。

最後に、石井好男副理事長の閉会のあいさつで総会を滞りなく終了しました。

平成26年度事業報告書（概要）

昨今の社会経済状況が大きく変化する中で、人口の高齢化は出生率の低下と相まってますます加速化しており、65歳以上の高齢者が3、300万人となり、4人に1人が高齢者となる超高齢社会を迎えております。

このような中で、高齢者が地域社会の中で積極的な役割を果たしつつ、生きがいをもって生活でき得る環境づくりがとりわけ重要であり、私たち老人クラブの果たす役割はますます大きくなってきております。

しかし、老人クラブを取り巻く環境は会員の減少、指導者の不足、財源の確保など当面する課題が山積しており、極めて厳しい状況下に置かれております。

そのため、私たち老人クラブが活躍する舞台は毎日生活する地域社会の中にあると考え、地域づくりの新しい担い手としての役割の重要性を認識し、さらに一層の取り組みを進める必要があります。

平成26年度においては、大老連では「高齢者の元気は地域の元気」の信念のもとに、全老連が提唱する老人クラブ21世紀プランに沿って、「健康・友愛・奉仕」の実現をめざして、さまざまな活動を展開してきました。

▽「高齢者の健康ウォーキング事業」の継続実施とともに、全老連の助成事業として2度目となる「チャレンジ！地域の元気づくり事業」の取り組みのほか、グラウンド・ゴルフ大会やペタンク大会等のスポーツ事業の実施、そして今回は「グラウンド・ゴルフ競技」を取りあげての「ニュースポーツリーダー養成講座」開催などの健康づくり活動を積極的に進めてきました。

▽ねたきり高齢者の友愛訪問や百歳長寿者のお祝い訪問、友愛募金運動の推進などの友愛活動、そして9月20日の全国一斉「社会奉仕の日」や環境美化・リサイクル活動の取り組み、あるいは子ども見守り活動などの奉仕活動、さらには友愛募金運動推進事業である第3回カラオケ大会開催などの多様な活動を精力的に実施してきました。

▽今後の老人クラブ発展をめざすには、その活動を担う指導者の養成が今一番求められており、老人クラブ指導者・女性部指導者を対象とする合同研修会の開催をはじめ、防災施設の見学や身近で役立つテーマを取りあげての女性部リーダー研修を行うほか、6年目を迎える「健康づくり推進リーダー養成講座」は内容も充実して開催するとともに、各区老連への出前講座としての「リーダー養成講座」を引き続き実施するなど、幅広い人材育成、リーダー養成に努めてきたところです。

▽大阪市高齢者福祉大会の大阪市との事業共催をはじめ、各区老人福祉センターを拠点として活動している各区老連事業と緊密な連携を図りながら、近畿老人クラブ連絡協議会の実施する「近畿ブロック老人クラブリーダー研修会」や定例会の開催、あるいは全国老人クラブ連合会等の実施する「全国老人クラブ大会」や女性リーダーセミナーの開催などの各種活動等を通じて、広い視野に立って積極的で活発な活動を展開してきました。

▽全国的な傾向である会員の減少は老人クラブが抱える重要な課題となっており、全老連において平成26年度から平成30年度までの5年間において老人クラブ「100万人会員増強運動」を推進しており、これに照応して大老連においても老人クラブ「1万人会員増強運動」を展開し、「大老連シルバー元気づくり事業」の新規実施をはじめ広報活動・PR活動の重点的展開を図るなど、さまざまな創意工夫を凝らして会員の減少に歯止めをかけ、新規会員の勧誘活動を積極的に推進してまいりました。

▽大老連としては地域の高齢者を代表する組織として、高齢者が活力を持って明るく豊かな長寿社会となるよう、人生の充実と長寿を喜びあえる地域社会づくりに取り組んできたところです。

第10回 大老連グラウンド・ゴルフ大会

団体 都島区老連 **優勝** 個人 太田勝子さん（都島区）

❶開会のあいさつをする中保昌理事長
❷住之江区の畠山裕郎さんが選手宣誓
❸熱き戦いを繰り広げる各区老連チーム
❹都島区老連チームが団体優勝

大老連主催第10回グラウンド・ゴルフ大会が、6月5日（金）に大阪城公園太陽の広場グラウンドにおいて、24区老連から144名の皆さんが参加して開催されました。

野口一郎副理事長の開会宣言の後、中保昌理事長から「この大会は高齢者の健康と生きがいづくりの一環として開催しており、参加者同士の親睦と交流を一層深めてほしい」とのあいさつがあり、続いて坂田洋一大阪市福祉局高齢者施策部長から「大阪市では高齢者の生きがい施策を推進しており、日頃の取り組みの成果を発揮されることはもとより、高齢者相互の交流、交歓も大いに図っていただきたい」との祝辞がありました。

次に、住之江区老連の畠山裕郎さんから元気はつらつと選手宣誓があり、中理事長と坂田部長による始球式で競技はスタートしました。

競技は、15m、25m、30m、50mを各2本、計8ホールを3ラウンド、合計24ホールで行われ、参加者は元気いっぱいにプレーを行い、広いグラウンドにカーン、カーンと軽快な音が鳴り響く中で熱戦が繰り広げられました。

3ラウンドの途中から雨が降り出しましたが、昼頃に競技は無事に終了し、午後0時15分から閉会式が行われ、成績発表の後、団体、個人それぞれ表彰を行い、大会を終了しました。

大会成績

【団体】▽優勝＝都島区老連（356打）▽準優勝＝住之江区老連（363打）▽3位＝淀川区老連（372打）

【個人】▽優勝＝都島区・太田勝子さん（48打）▽準優勝＝此花区・金築敦子さん（52打）▽3位＝西成区・松田隆弘さん（53打）▽4位＝中央区・橋本喜代次さん（54打）▽5位＝東淀川区・須崎登さん（54打）▽6位＝都島区・小塩廣光さん（56打）▽7位＝住之江区・岸上史郎さん（56打）▽8位＝大正区・伊勢洋一さん（57打）▽9位＝住之江区・畠山裕郎さん（57打）▽10位＝西淀川区・脇門忠司さん（57打）

随意随想
70年前の火柱に託す思い

大阪ソーシャルワーカー協会会長　大塚　保信

戦後生まれの人口が1億人を数える時代になった。それゆえ戦争体験者は残り3000万人足らずということになる。しかしその頃幼な児であった人は当時の記憶も定かでないであろうから、忌まわしい戦争を思い起こし伝える者はさらに少なくなった。そこで戦後70年を目前に控え、戦災体験した最後の世代の務めかと思い立ち筆を起こすことにした。

「敵機来襲！敵機来襲！只今敵機ハ和歌山県御坊方面ヨリ侵入セリ」とラジオが伝えるアナウンサーの声を上手に真似していたと姉からよく聞かされていた。しかしながら、まだ3歳ぐらいのことであるから定かな記憶はない。だが戦局がさらに厳しくなり空爆から逃れるため、たびたび防空壕に避難するようになった4歳頃からの記憶は今でも鮮明である。食糧事情が悪く栄養が偏っていたせいか、当時の私は暗いところでは周りの様子が見えない病に罹っていた。密閉状態で真っ暗な防空壕のなかで恐怖感に襲われよく泣いていた。やむなく母がローソクに火をともしてくれたが、たちまち「明りが漏れている」と見回りの警防団から厳しい叱責が飛んでくる。

太平洋戦争で大阪は50回を超える空襲に見舞われたが、末期の昭和19年12月から翌年8月15日の終戦を迎えるまで100機以上のB29爆撃機が飛来した大空襲は8回もあったと記録されている（ピース大阪調べ）。なかでも3月13日の深夜から未明にかけての大空襲では3987人もの尊い命が一夜にして奪われた。奇しくも「明りが漏れている」と厳しく叱られたのがその日であったと後から聞かされた。

6月7日の大空襲も鮮明に記憶に留まっている。けたたましく告げられる空襲警報に急かされ、防空頭巾をかぶり母の手をしっかり握りしめて近くの桜ノ宮公園に逃げ込んだ。いつもは広い公園もこの時ばかりは逃げ惑う人でびっしり埋まっている。周りは瞬時に火の海と化し、空からは燃え盛った火の粉が降り注いでくる。難を逃れるには、その場にうずくまるしかすべがない。火炎の熱さに耐えきれず、そばを流れる大川に飛び込んだ人もいた。しばらくすると公園に隣接する桜ノ宮神社の境内にあった大きな楠の木に爆弾が直撃し、爆風に煽られた大木は根っ子ごと天高く巻き上げられ爆煙の中に消えていった。爆撃機が去った後、辺りを見回すと悲惨な状況が目に飛び込んでくる。川に飛び込んだ人の多くは、あちらこちらで無言のまま浮いている。

あと数時間で戦争が終わる8月14日の昼頃、大阪城内にあった東洋一の軍事工場である砲兵工廠が集中攻撃を受けたが、その際、流れ弾の1トン爆弾が京橋駅のホームに4発落ちた。駅舎は断末魔の叫びが飛び交うまさに生き地獄と化した。判明している被爆犠牲者210名とされているが、他に無縁仏となった御仏は数えきれず500名とも600名とも言われている。今も京橋駅が見渡せる所に居を構えているから、毎年8月14日は特別な思いで胸が締めつけられる。

好んで争いごとを起こそうとする者はいないと信じたいが、隣近所でも騒音がうるさいとか些細なことでもめ事が起こり、ときにそれが元で大きなトラブルに発展することもある。古今東西、とかく隣接する国家の間でも何かと争いの種を抱えていることが多い。もめ事や争いの発端がたとえ些細なことであっても、いったん戦端が開かれると閉じることは容易ではない。そして争いが収まった後に残るのは、いつまでも募る怨念と次の戦いに向けた恐ろしい武器の開発である。

70年前に玉音放送といわれる終戦の詔勅で耳にした「堪え難きを堪え、忍び難きを忍び」という言葉は多くの人の記憶に今も鮮明に残っている。しかしその前後の文言はあまり知られていない。要約してみると「時の巡りあわせに逆らわず、堪え難くまた、忍び難い思いを乗り越えて、未来永劫のために平和な世界を開こうと思う」という文意である。世界中が何かと騒々しい現在にこそ味読する価値がある。

ところで今になって、70年前の6月7日に火柱のまま天高く爆炎の中に消えてしまった桜ノ宮神社の楠の木はどこに行ったのであろうかとふと思うことがある。炎の中に消えたまま落ちたところを見ていないから、私の脳裏には今もまだ舞い上がったままの姿で残っている。目を閉じて当時に思いをめぐらせてみると、大空高く突き進んで行った火の鳥の姿のようでもある。どこを目指して飛んでいるのか分からないが、「絶対的な平和を実現する神様」のところに行き「どうかこんなむごい戦争は金輪際やめさせてください」と直訴しに飛び立ったのではなかろうか。しかし、今この時にも世界中のあちらこちらで悲惨な争い事が繰り返されている。ひょっとして途中で「戦争好きの邪悪な妖怪」に出会い、行く手を阻まれて難儀しているのかもしれない。しかしやがて必ず目的地に到達するはずだ、そうでなくては尊い命の火を消された多くの人々の魂が救われない。

二葉由紀子・羽田たか志

天中軒雲月

好評発売中！

上方演芸特選会

7月22日（水）～25日（土）午後1時開演〈小ホール〉

落語（交互出演）　月亭天使／桂　鞠輔
浪曲　真山隼人
漫談　ナオユキ
落語　笑福亭伯枝
《仲入》
曲独楽　伏見龍水
浪曲　天中軒雲月
漫才　二葉由紀子・羽田たか志

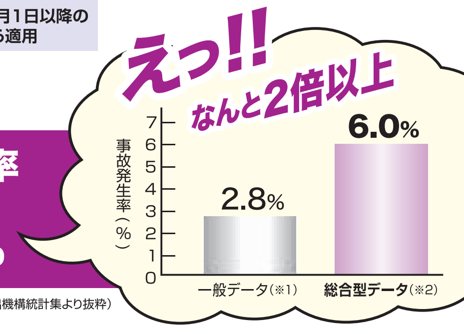
▼国立劇場チケットセンター〔10時～18時〕
0570-07-9900
03-3230-3000（一部IP電話等）
http://ticket.ntj.jac.go.jp/（一般のみ）
▼チケット売場〔10時～18時〕
▼料金　一般2,100円／学生1,400円
シルバー（満65歳以上）1,300円

国立文楽劇場
★地下鉄・近鉄〈日本橋〉駅下車⑦号出口徒歩1分

平成25年10月1日改定　平成25年9月1日以降のお申込みから適用

ケガの老人クラブ傷害保険

日常生活中で高い事故率
（老人クラブ活動中以外の事故）
普通傷害保険事故率の2倍以上になる 6%



（※1）普通傷害保険被保険者中の被害者比率（平成23年損害保険料率算出機構統計集より抜粋）
（※2）事故データ提供：東京海上日動火災保険（株）

総合型
〈クラブ活動型〉＋〈24時間型〉
24時間いつでも、どこでもケガが心配という方におすすめ
年間掛金 3,500円・5,000円・10,000円

クラブ活動型
クラブの行事や活動によく出かけるという方におすすめ
年間掛金 500円・1,000円・2,000円

公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係
03-3597-8770　受付時間 9:30～17:30〈土、日、祝祭日休〉
〈取扱代理店〉有限会社 シニアサービス社　電話番号 03-3597-8768　FAX番号 03-3597-8767
〈引受幹事保険会社〉東京海上日動火災保険株式会社
（担当課）医療・福祉法人部 法人第二課　電話番号 03-3515-4144

●この広告は老人クラブ傷害保険（老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険・普通傷害保険）の概要についてご紹介したものです。詳細は、「募集案内チラシ（平成25年10月1日始期以降用）」「重要事項説明書」「ご加入の際の注意事項」をお読みください。ご不明な点等がありましたら、取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。全老連保険係ホームページ（http://www.senior-ltd.com/）でもご確認いただけます。
13-T-03781-1 平成25年8月作成